創立七十周年記念誌

吳沙々字

府中町立府中中学校

学校概要・校訓

〔学校概要〕

府中町は、周囲を広島市に囲まれた新興住宅地域である。交通の便も良く、広島市の中心部までは約20分、生活圏は広島市である。町の主軸企業として、マツダ株式会社とその関連企業、また大型ショッピングモール（イオンモール広島府中）があり、町の経済の支えとなっている。

本校は、府中町のほぼ中央、八幡台地に位置し、校区内に府中小学校、府中東小学校、府中北小学校がある。平成21年度は「広島県学力向上対策事業」、平成23年度は「心の元気を育てる地域支援事業」、「不登校対策実践指定校事業」、平成24・25年度は「生徒指導実践指定校」、また、平成25・26年度は「『道徳教育改善・充実』総合対策事業」、平成27年度は「生徒指導実践指定校」の指定を受けた。平成28年度から2年間、「『学びの変革』パイロット校事業実践指定校」の指定を受け、今年度もさらなる研究の推進に取り組んでいるところである。

〔校　訓〕

本（ほん）　心（じん）　～「本心」とは智慧（知恵・知識）なり、智慧（知恵・知識）とは真理なり～

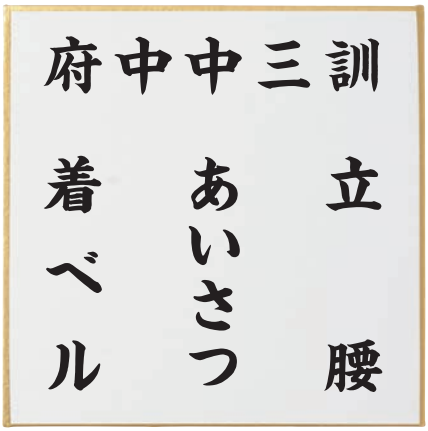
視るに目を以てすればすなわち暗く　視るに心を以てすれば則ち明らかなり
聴くに耳をもってすれば則ち惑ひ　聴くに心を以てすれば則ち聰なり
言動も亦同一の理なり

〔学校教育目標〕「基礎・基本の徹底に努め、生きる力の育成を図る。」

めざす学校像	めざす生徒像	めざす授業像
信頼される 学校をつくる	主体的・協働的な「学び合い」を 通して確かな学力を身に付けた生徒	「思考力・判断力・表現力」を 育成する授業

【校　章】

構想者　住　岡　秋　作
構図者　徳　永　恭一郎
由　来
　輝く朝日の中に、自由の世界に大きく羽ばたく鵬翼をあしらって、府中中学校の発展と生徒の飛躍を象徴してつくられたものである。



校舎写真

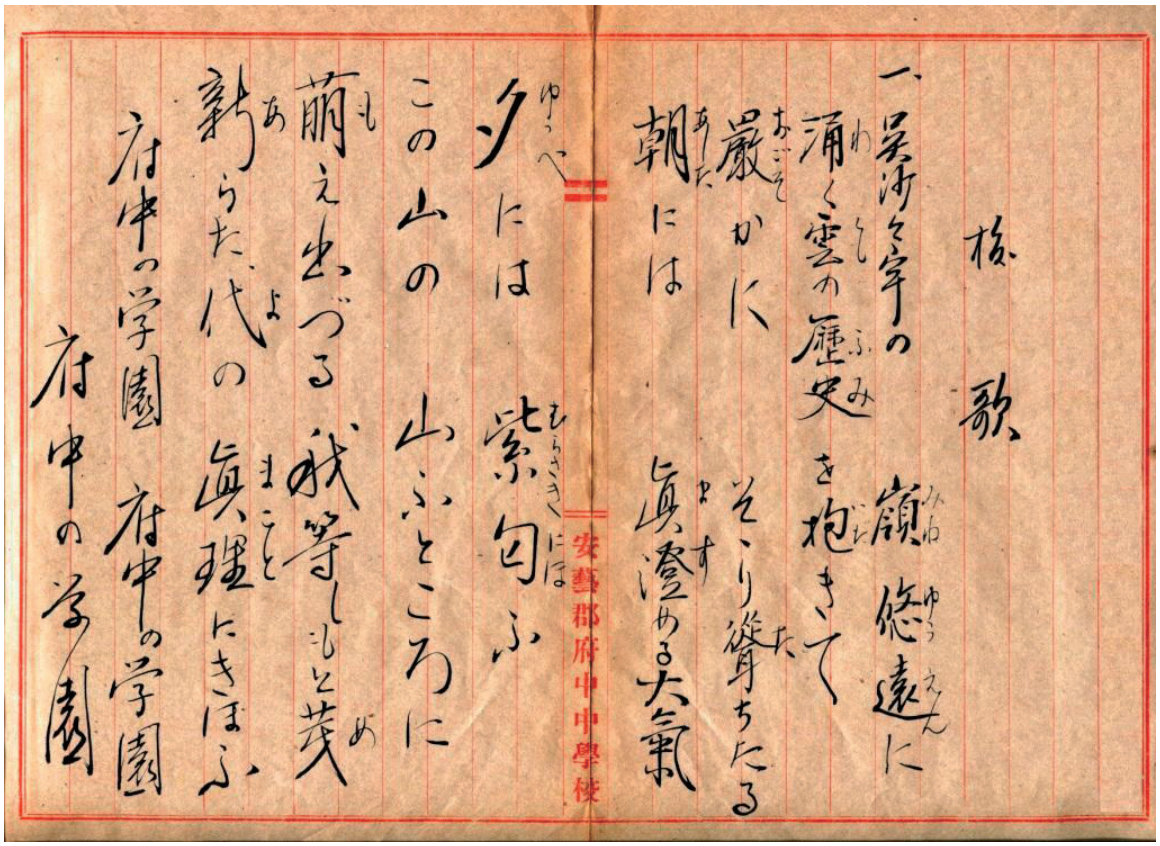
旧府中中学校（現くすのきプラザ）

府中中学校旧校舎（現在地）

耐震・新築された府中中学校

中　庭

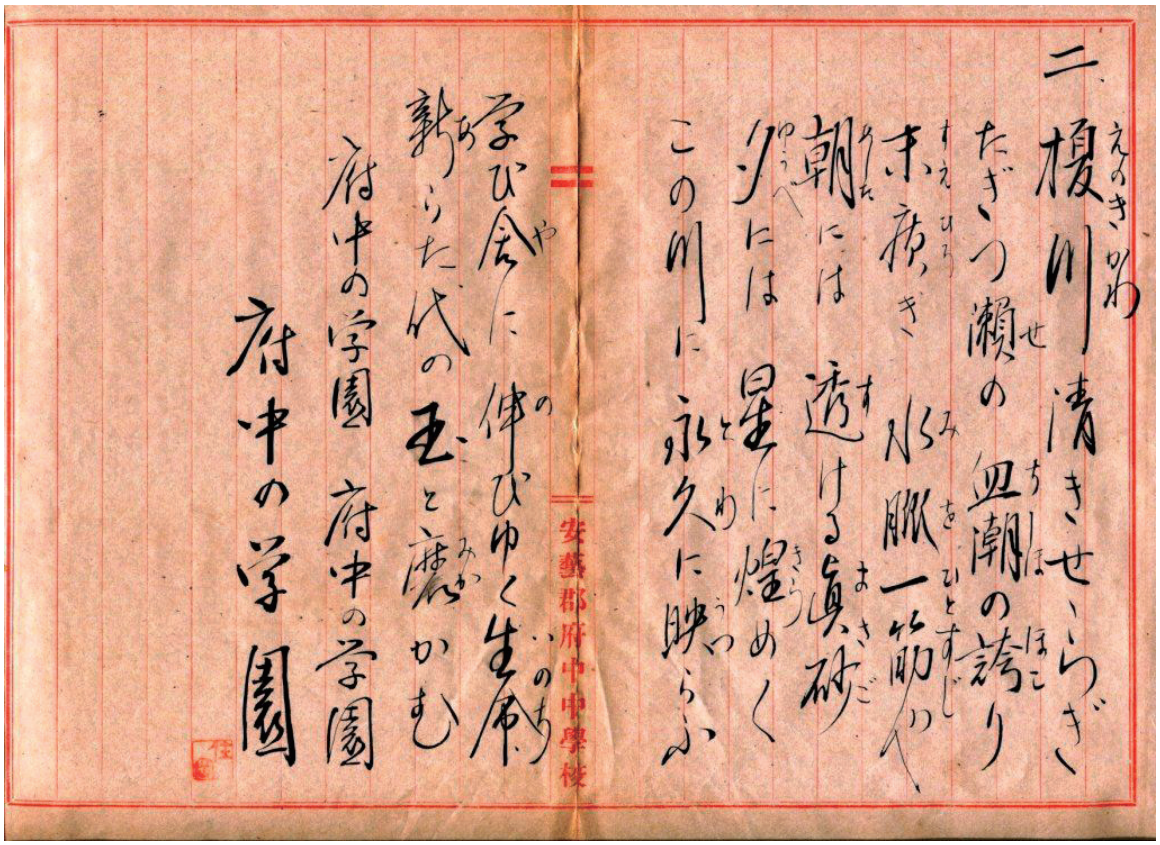
府中中学校校歌（原版）



校歌

一、吳淞々宇の　嶺悠遠に
涌く雲の歴史を抱きて
嚴かに　そゝり聳ちたる
朝には　眞澄める大氣
夕には　紫匂ふ
この山の　山ふところに
萌え出づる我等しもと茂
新らたの代の　眞理にきほふ
府中の学園　府中の学園
府中の学園

安藝郡府中中學校



二、榎川　清きせゝらぎ
たぎつ瀬の　血潮の誇り
未熟き　水脈一筋の
朝には　透ける眞砂
夕には　星に煌めく
この川に　永久に映らふ
学び舎に　伸びゆく生命
新らたの代の　玉と磨かむ
府中の学園　府中の学園
府中の学園

安藝郡府中中學校

初代校長　住岡　秋作先生　作詞

目次

あいさつ・祝辞

創立70周年記念事業実行委員長　飯田　誠……8
府中中学校校長　木村　通幸……9
〃　PTA 会長　宮尾　雅彦……10
〃　生徒会長　吉田　大希……11
府中町長　佐藤　信治……12
府中町議会議長　中村　武弘……13
府中町教育委員会教育長　高杉　良知……14
前府中町長　和多利義之……15

思い出

府中町議会議員　繁政　秀子……18
第11代府中中学校校長　正井　嘉明……19
第13代府中中学校校長　樽谷　和子……20
第15代府中中学校校長　國沖　傑……21
第16代府中中学校校長　迫田　豊……22
第17代府中中学校校長　大田　稔……23
学校評議員（元 PTA 会長）　桒原　修……24
府中中学校茶華道部講師　長門　香苗……25

回想録

創立～20年 ……28
創立21年～40年 ……29
創立41年～60年 ……30
創立61年～70年 ……31

学校教育活動

新校舎配置図……34
平成29年度　教職員・生徒集合写真 ……35
平成29年度　学校教育推進計画全体構想図 ……36
府中中学校の一年……37
学校沿革史・生徒数推移……38

PTA 活動

PTA 活動一覧 ……42
PTA 活動風景 ……43

イラスト ……44

編集後記 ……45

70th anniversary

あいさつ・祝辞

あいさつ

府中町立府中中学校
創立70周年記念事業　実行委員長

飯田　誠

府中中学校創立70周年という節目に当たり記念事業の一つとしてこの記念誌を発刊いたしました。

本校は70年の永きにわたり未来ある多くの青少年を育み続けてきました。教育は国家100年の大計といわれます。府中町はもとより我が国を支える多くの人材の礎を担ってまいりました。まずもっては学校創立や維持にご尽力いただいた府中町長はじめ教育に携われた諸先輩方に、また歴代校長先生をはじめ熱心に生徒を導かれた先生方、またPTA役員の永年のご労苦に思いを致し敬意を表します。

さて、まずは70年の歩みです。本校は戦後の混乱が続く昭和22年、教育課程が今日のものに改定されたことを受けて創立されます。当時安芸郡であった府中町・中山村・温品村・戸坂村の生徒が通う中学校としてその歴史が始まります。当初は校舎も無く、府中小学校に間借りする状態での開校であったそうです。その後、昭和24年に現在の「くすのきプラザ」の地に木造2階建の校舎が構えられたそうです。その後、府中町の人口が増加し、かつ校舎が老朽化したことから昭和39年に現在の場所に校舎を新築し移転します。当時としては最先端、鉄筋コンクリート4階建で「日本一設備の整った中学校」といわれ、他所からの視察も頻繁にあったそうです。

私は昭和53年3月卒業の第31回生です。当時は全校生徒約1700名のマンモス校でした。私の同級生は500名くらいいましたでしょうか、同級生の顔と名前をすべて把握するのは不可能な状態でした。よほど目立つ者（良きにつけ悪しきにつけです）でなければ同級生全員に顔と名前を知られることはありませんでした。3年時には教室が足りなくなり、プレハブ校舎だったことを記憶しています。当時の先生方は増え続ける生徒の指導にさぞかしご苦労が絶えなかったのではと拝察いたします。この度その母校が70周年を迎えたことを皆様と共にお祝いできることを幸せに思います。

最後になりましたが、今回の70周年記念事業の遂行にあたりましては校長先生をはじめ先生方、PTA役員、保護者の皆様のご理解ご協力に衷心より御礼申し上げます。これからも、府中町の子どもにとってよりよき学舎であることはもとより、我が国の未来を支える優秀な人材を育む処として末永く有り続けるよう祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

あいさつ

府中町立府中中学校
校長

木村　通幸

歴史ある町の名を冠する本校は、創立70年目を迎え、卒業生22,000近い有為な人材を送り出した伝統のある中学校です。

昭和22年府中小学校の教室を使用し、生徒数222名で安芸郡府中町・中山村・温品村・戸坂村学校組合立府中中学校として設立されました。昭和39年9月に現在地である八幡山に移転しました。昭和54年には生徒数1800人余りの県下一のマンモス校となり、翌年、府中緑ケ丘中学校が分離開校されました。平成29年11月、耐震化工事等により、校舎改修及び新築の竣工式を行ったところです。平成30年1月1日現在、生徒数616人、職員数73名となっております。

校訓は「本心」であり、～「本心」は、智慧（智恵・知識）なり、智慧（智恵・知識）とは心理なり～とあり、一切の現象や、現象の背後にある道理を見きわめる心作用を意味するという崇高な教えが脈々と引き継がれ、今日に至っています。

近年、生徒指導実践指定校や『学びの変革』パイロット事業実践指定校として、地域や保護者のご理解・ご支援を受けながら、組織的に取り組んだ結果、問題行動等の克服や確かな学力の育成において大きな成果をあげてまいりました。また、部活動では、吹奏楽部、卓球部、剣道部等が全国大会へ出場し輝かしい成績を収めています。これも「知・徳・体」の調和のとれた発達や「生きる力の育成」を目指した教育理念を確固たるものとして受け継いでこられた方々のご指導やご尽力のお陰と感謝いたします。

近年、グローバル化の進展により、複雑化・高度化する社会にあって、他者と協働して新たな価値を生み出す人材が求められています。府中中学校で学んだことに誇りをもち、これからの社会で活躍できる人材を育成することが使命と考えております。

結びに、70周年記念事業実行委員長飯田誠様をはじめ、本事業に携わり、ご尽力いただいた皆様に衷心より感謝申し上げますとともに、地域の方々、PTA の皆様、本校に関わるすべての皆様、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年2月17日

あいさつ

府中町立府中中学校 PTA
会長

宮尾　雅彦

創立70周年、おめでとうございます。

府中中学校が昭和22年に創立されてから、70年の節目となる日を迎えることが出来ましたことを、心よりお慶び申し上げます。この記念すべき式典に携われたことに、心より感謝いたします。これまでの70年間、府中中学校を支えてくださいました学校関係者の皆さま方に、PTAを代表して、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

このたび、創立70周年の実行委員として記念誌を制作するにあたり、府中中学校の過去に触れることができました。現くすのきプラザにありました旧中学校を建設するためにPTAが整地したこと、水分狭神社でのボランティア清掃活動、地域PTA・生徒会とのふれあいのキャンプを行っていたことなど数多くあり、これらの沿革史やアルバムを見ていますと、家庭・学校・地域が共に協力し合って活動を行い、子どもたちを育んでいたことが良く理解することができました。

近年、スマートフォンの普及によりSNSによる会話が気軽にできるようになり、その反面、言葉でのコミュニケーション能力が低下し、SNSだけでは、お互いの気持ちが思うように伝わらず、相手を傷つけてしまう問題が多く起こってきています。これらの問題で大事なのは、人と人との繋がりと絆を大切にすることです。時代や教育環境が変わろうとも、家庭・学校・地域が、お互いに協力し合いコミュニケーションを図ること。そして、直に相手と向き合い、話を聞き、表情をくみ取り、気持ちを伝え、相手を思いやる心が大切です。私たち大人が規範となり、子どもに見せることが、とても必要なことだと考えます。

さて、間もなく府中中学校では、コミュニティ・スクールが導入され、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちの学習を充実させていく、「地域とともにある学校」へと転換することになります。そして、これを機に、私たちPTAは、家庭・学校・地域の架け橋となるべくPTAの持つ役割の重要性を再認識し、子どもたちの将来のために、PTA活動を推進していく所存です。

この歴史ある府中中学校が、この先80年、100年と益々発展していき、生徒や卒業生がよりいっそう活躍していくことを心から願っています。

今後も、学校関係者の皆さま方には、ご理解とご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げる次第です。

最後に、生徒が夢と希望をもって、この府中中学校を飛び立って行くことを願いまして、私の挨拶とさせていただきます。

あいさつ

府中町立府中中学校
生徒会長

吉田　大希

この度、私達在校生が70周年という府中中学校の歴史の節目に立ち会うことができるのはとても喜ばしく思うとともに、この式典に取り組んでこられた方々に感謝を申し上げます。

府中町立府中中学校が昭和22年に創立されて以来、歴代の先生方の努力や地域の皆様のご支援のおかげで、本日を迎えることができたと思います。

現在、府中中学校では、学習に関して「StudyA・B・C」という取組を行っています。毎日のHR学習、家庭学習、そして確認テストのサイクルで日々の学習を積み重ねています。その成果として、今年度2年生は広島県「基礎・基本」定着状況調査で、3年生は全国学力・学習状況調査において県平均以上の成績を残すことができました。努力の成果が目に見える形になり、生徒一人一人の学習に対する意識が高まってきているのを感じます。

部活動に関しては、各部が郡市大会や県大会において輝かしい成績を残し、中国大会や全国大会にも出場するなど、多くの部活動がたゆまぬ努力の結果、実を結んできました。また、文化部は地域の行事に参加したり、校内で製作した作品を展示したり、さまざまな形で活動の成果を発表しています。

このように、学習面でも部活動においても結果を残せているのは、本訓である「本心」を学校生活の拠り所として、また、学習の構えをつくる府中中三訓「着ベル・あいさつ・立腰」を意識して日々生活を送っているからだと思います。私達在校生は、中学校生活の中でこれまで伝統を築き上げてきていただいた卒業生の方々や日々私達を見守ってくださる地域の皆様に感謝し、私達が今まで積み重ねてきたものをさらに発展させていきます。

そしてこの70周年にふさわしき誇り高き学校を先生方とともに創り、輝かしい歴史を残すよう心がけます。

祝辞

府中町長

佐藤　信治

府中中学校創立70周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

府中中学校が昭和22年4月の創立以来、着実に歩み続け、今日まで発展を築いてまいりましたのは、これもひとえに歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、保護者・地域の皆様方の教育に対する期待と情熱、そして献身的なご指導の賜物であり、関係各位の長年にわたるご尽力に対し、本町の行政を預かる者として、心より敬意と感謝を表す次第であります。

昭和39年に府中町を見渡せる高台の現在地に建った校舎が、耐震補強・改築による長寿命化改修を行い、今年度新たに生まれ変わりました。ここに創立70周年のお祝いをすることができますことは大変感慨深いものであります。この校舎から多くの卒業生が巣立ち、社会の各分野でご活躍され、その功績を見、聞くたび誇らしく、また、心強く感じているところでございます。

本町といたしましても、地域はもとより広く世界に貢献できる子どもたちを育み、あらゆる才能を発揮できるよう教育環境を整えてまいりたいと考えております。

結びに、府中中学校がますます充実、発展されますことを心からお祈りし、また関係各位におかれましては、本町の教育行政の進展のために、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、祝辞といたします。

祝辞

府中町議会議長

中村　武弘

府中中学校、開校70周年おめでとうございます。

府中町議会を代表し、一言お祝いの言葉を申し上げます。

府中中学校の開設は、戦後間もない昭和22年4月に町内のお寺や消防団詰め所などの施設を借りながらのスタートでありました。

その後、近隣の3村と組合立の中学校となり、昭和39年に現在の地に当時では西日本一といわれるほどの施設設備の府中町立府中中学校が新設されました。また、平成29年には新しい校舎が建設され、新たな歴史の1ページを築き上げる年となりました。

この長い歴史の中で、今日まで府中町の中学校として、後に開校された府中緑ケ丘中学校と共に生徒の学校教育の拠点となり、また、社会教育の一環としての地域教育力の醸成の場としても多くの町民に支えられてきています。

こうした長い歴史の中で巣立って行った生徒さんたち同様、今後とも本校で学んだ誇りと自らの夢の実現に向け、強い志を育んでいくよう強く願いたいと思います。

終わりに、この長い歴史の中で様々なご協力を頂いた皆さんに心より感謝申し上げてお祝いの挨拶といたします。

あいさつ

府中町教育委員会教育長

高杉　良知

府中町立府中中学校創立70周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本校は、昭和22年4月に設立され、府中小学校を仮校舎として授業を開始し、昭和39年9月町内団地造成による入居者の増加によって町の人口と中学校に入学する生徒が急増したため、日本一と当時宣伝されるほど充実した設備を誇る校舎が現在地に新築されました。以降、教育活動の充実と施設・設備の拡充に邁進してこられました。

また、平成21年に広島県学力向上対策事業の指定を受け、「学力向上対策事業研究指定校」「広島県生徒指導実践指定校」「広島県小・中学校生徒指導指定実践指定校」「学びの変革パイロット校事業指定」として、町内はもとより県内の指導教育の一翼を担い、その推進に大きな役割を果たしてこられました。教育の一環として取り組むクラブ活動においてもサッカー部、バスケットボール部、吹奏楽部等が大きな成果をあげられています。この間に学舎を巣立たれた卒業生はおよそ22,000名を数え、さまざまな分野で活躍する有為な人材を多数輩出しておられます。これもひとえに、向学心に燃えて本校に学ぶ生徒の皆さんのたゆまぬ努力、その熱意と期待に応えてこられた歴代校長先生をはじめとする教職員の方々のご指導、さらには本校教育活動を物心両面にわたって支援してこられた保護者、同窓生、地域の方々のご尽力の賜と、心より深く感謝と敬意を表します。

府中町立府中中学校が、70年の輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、本町の目指す教育理念を実現すべく、「本心」の校訓のもと、新しい時代に向けて、さらなる飛躍を遂げられますよう祈念いたしまして、挨拶といたします。

祝辞

前府中町長

和多利　義之

創立70周年の記念日を迎えられ、心からお祝い申し上げます。府中中学校は、この間種々の変化を遂げ、今日に至った事が思い浮かびます。

私は、戦後の昭和21年に府中小学校に入学しましたが、府中中学校は、その翌年、昭和22年に府中小学校の旧々校舎、2階建て木造校舎の一部を借用して開校したのを、今でも覚えています。

当時、広島県が中学校の無い自治体は、合併を促していたと聞きました。このことから、当時の町の指導者が、近隣の自治体（中山村、温品村、戸坂村）と折衝し、組合立中学校建設の話を進め、昭和24年に、今のくすのきプラザの地に完成させました。私は、この中学校に昭和27年に入学し、卒業しました。

この後、戸坂村が昭和30年に広島市に合併、続いて、中山村、安芸町（旧温品村）が合併したことから組合を解散し、単独の中学校になったことと、昭和33年頃からの日本の高度経済成長による生徒増（人口増）や、都市ポンプ場の建設問題から、現府中中学校の場所に昭和39年に移設し、今日に至った経緯があります。

このような変化の中、歴代の町当局や学校当局の関係者には、並々ならぬご苦労があったかと思いますが、それぞれ最善を尽くしていただき、2万人を余る立派な生徒を送り出し、今や、ゆるぎない府中中学校にしていただいたことに、感謝したいと思います。

また、昨今、自然災害の多発時期にして、学校耐震改修に迫られていたことから、町当局が校舎底地の均等化、学校施設の改築、改修、給食棟の分離等を施すこととし、平成29年11月に新校舎が完工しました。

この70周年を契機に、一層教育の充実が図られるものと期待します。

70th anniversary

思い出

思い出

府中町議会議員

繁政　秀子

府中中学校創立70周年、誠におめでとうございます。

今、振り返ってみれば私の子どもが在学していた時期から、すでに40年も過ぎましたがPTAの役をいただくことになり、度々学校に足を運び先生や子どもたちと意見を交わしたことを懐かしく思い出しています。

その当時の府中中学校は県内でも有数の超マンモス校で1,600名から1,700名であったと思います。

マンモス校であるがため、生徒や先生には大変な時代でもあったと思いますが、その後少子高齢化が進むにつれ現在では600人余りまで減少してきています。

しかしながら、生徒数に関係なく今日ではマスコミ等でいじめ問題をはじめ様々な学校・生徒に関する報道がなされていますが、なによりも学校運営で大切なことは先生と生徒、先生と保護者、生徒と保護者、この3者間の信頼を構築していくことが多感な年頃の子どもたちの不安を解消する大きな力になるのではと強く思っています。

役員についていたマンモス校時代のエピソードを一つ紹介しますと、ある学級で修学旅行に参加できなかった生徒のため、参加した生徒が少ない小遣いを出し合いながらお土産を買ってきてあげたという子どもたちの人に対する優しさを強く感じたことを思い出します。なんでもないような行為がその参加できなかった子どもには大変うれしくクラスのみんなが強い絆で結ばれたというような話でありました。

私も、その話を聞き、わが子に人に対する思いやりの大切さを話したことを思い出し、今日の学校教育にも活かしていただきたいと思います。

その懐かしい校舎が平成29年には、新しく建替えられ、また新たな学校としてこれまで受け継がれてきた校風にさらに磨きをかけた歴史を作っていくのではと楽しみに見守ってまいりたいと思います。

学校は地域と一体となりお互いの協力が今の時代欠かすことはできません。

これからも地域の学校として地域と一体となった子どもたちにとって楽しいといえるような学校として新たな歴史を築いて行っていただきますとともに府中中学校の益々の発展をお祈りいたしましてお祝いの言葉といたします。

府中中学校70周年記念誌の発刊に寄せて

第11代府中中学校
校長

正井　嘉明

伝統ある府中中学校が、今年記念すべき創立70周年を迎え、ここに記念誌が発刊されますことを皆様と共に心からお喜び申し上げます。

顧みますと、平成8年の春、満開の桜のもと府中中学校の校門をくぐって、早20年が経過しました。赴任したその年は創立50周年という大きな節目の年で、様々な学校行事が計画されており、当時の外和田 PTA 会長のお力添えを得ながら一つずつ成し遂げ、充実した実り多い年だったことを思い出します。

とくに2学期は、「大運動会」を皮切りに「おりづる国体」、そして「創立50周年記念の式典・文化祭」と3週間ごとに押し寄せる大型行事に、胸突き八丁の取組でした。ある時はクラス単位で、ある時は部活動単位でしっかりスクラムを組み、まさに府中中学校の生徒・教職員・保護者の団結力で乗り切ったことを、今でも誇りに思います。

部活動も各部とも朝練を始め、本当に活発でした。なかでも、サッカー部・バスケット部・水泳部の中国大会出場、吹奏楽部の全国大会での金賞受賞は府中中学校の歴史に新たな一ページを書き加えてくれました。

さらに特別支援学級の活躍があります。国体の炬火リレーへの参加をはじめ、広島市内のギャラリーで在校生や卒業生の作品を集めた「出会い展」の開催、また、50周年式典のアトラクションではさおり織りを身につけ民族楽器を演奏し好評でした。この活動は、その後、音楽団「ちょっと来てブラッズバンド」に発展しましたが、昨年、結成20年を迎えるのを機に幕を閉じました。

初代校長、住岡秋作校長先生は校訓「本心」を定め、次のように説かれています。

視るに目を以ってすれば　　即ち暗く
　　視るに心を以ってすれば
　　即ち明らかなり
聴くに耳を以ってすれば　　即ち惑い
　　聴くに心を以ってすれば
　　即ち聡なり
言動も亦同一の理なり

この校訓は、創立以来、府中中学校の教育の精神的支柱となり、府中中学校の輝かしい歴史は折に触れ多くの人々に語り継がれています。

輝く70年の伝統を持つ府中中学校が、より一層発展することを祈念しますとともに、記念事業実行委員会の皆様に深く感謝と敬意を表し、お祝いの言葉といたします。

府中中と私

第13代府中中学校
校長

樽谷　和子

今年の9月、昭和37年度府中中学校卒業生の同窓会を開催しました。10年前は還暦を祝い、今年は古希を祝う同窓会でした。中学時代は1学年9学級、500名位の生徒でしたが、当日の出席は、卒業生74名と恩師3名のご出席をいただいての会となりました。開始前からロビーでは、名前を忘れていても顔を合わせ話すうちに昔にタイムスリップし、学級単位でテーブルにつき思い出に話が弾みました。2時間という時間は「アッ」という間に過ぎ去っていきました。

私たちの中学時代の校舎は現在のくすのきプラザの地で、団塊の世代でもあり、教室も不足気味で特別教室が普通教室になっていました。3年間クラス替えもなく、同一クラスで過ごし、もうすぐ「新校舎が出来るよ」と言われながら八幡山に出来る校舎の模型を見ながら卒業しました。

私は、中学時代の恩師、島田先生に憧れ体育の教員になりました。最初の赴任校は、府中中学校で、始業式、入学式で歌う校歌は、自信をもって大きな声で歌うことができました。その後、海田中学校へ転勤し、昭和63年再び府中中学校勤務となり、1学年11クラス、45人学級でした。全校生徒は、1200名余り、行事を行うにも体育館、グランドは一杯。クラスマッチ（バレーボール）、コーラス大会、運動会、文化祭等どの行事も生徒達は一生懸命取り組んでくれました。生徒も先生も共に行事は大いに盛り上がり、特に印象に残っているのが給食時間でした。1年生の2学期、給食委員会提案で「残菜0」が目標となり、1学期に残菜が多かった我が組は HR の時間に対策を考え、残菜をゼロにすることができました。食事前に分量を考え、「食べ切れないものは友達に分けてあげる」そして「好き嫌いなく少しでも食べる」という目標で残菜が減少できました。残菜が多かった1学期でしたが、3学期にはほとんど食べきることができました。2年生になりクラス替えがあり、給食時間になると「先生全部食べるのですか？」と尋ねられました。私は、「そうです！」と答えたら生徒は全員美味しく（いやいやかも）食べていました。3年間で樽谷学級のみならず学年全体が、給食を完食するようになり、給食調理員さんもとても喜んでくださりました。

平成6年には府中緑ケ丘中へ転勤し、平成9年からは教頭として三度、府中中で勤務した後、平成13年からは校長として四度目の赴任をしました。出身校で教諭・教頭・校長として勤務することができたのも、地域の方から絶大なる協力を得たからこそ学校運営ができたと思います。

感謝

創立70周年に寄せて

第15代府中中学校
校長

國沖　傑

府中町立府中中学校創立70周年に当たり心からお祝い申し上げます。

私は平成20年に着任し、2年間お世話になりました。着任した年は569名、翌年が583名という生徒数で当時の第一印象は、大職員室に入ったとたん「すごい学校に来たな」という印象でした。校舎も大きく配置を覚えるまでしばらく時間がかかりました。

部活動が盛んで、運動部、文化部とも好成績を残し、大会やコンクールへの追っかけの日々でした。特に吹奏楽部の活躍はめざましく、吹奏楽コンクール、マーチングコンテストでは全国でも金賞を受賞し、日々の多忙が癒やされたのを覚えています。

体育館の大規模改造工事による運動会の日程変更、文化祭をくすのきプラザで開催したことも想い出として残っています。文化祭では勝負強さから「怪童」と呼ばれ、29歳で亡くなった府中町出身のプロ将棋棋士、村山　聖さんの生涯を生徒が劇にして上演しました。当日は聖さんのご両親も鑑賞されました。昨年公開された映画「聖の青春」を見に行かれた方も多いのではないでしょうか。

生徒も意欲的に活動し、毎年9月に実施したクリーンキャンペーンでは、全校生徒が校区へ出向き、清掃活動を行いました。総合的な学習の時間では府中町の町花である、「つばき」の苗を地域の方に協力していただき植える等しました。

そのような中で決して忘れられない大きな出来事がありました。夏期休業中の部活動中に生徒が校舎から転落するという事故が起きました。救急車が到着するまで先生方も必死で対応してくれました。危機管理と言葉では言うものの、こうした事態に直面し生徒の安全と安心を徹底し実現しなければ意味が無いことを痛感しました。翌年異動となりましたが、奇跡的に回復し学校へ戻ることができた生徒の卒業式に出席し、高校の卒業式には当時の担任と出席し、元気な姿に接することができました。

私は退職しておりますが、教職生活で忘れることのできない出来事です。

2年間という短い期間でしたが地域の多くの方々に支えていただきました。思いで多き創立70周年を迎えられた府中町立府中中学校のますますの飛躍と発展、関係する皆様のご健勝を祈念いたします。

在職5年間を振り返って

府中町青少年教育相談員
（第16代府中中学校校長）

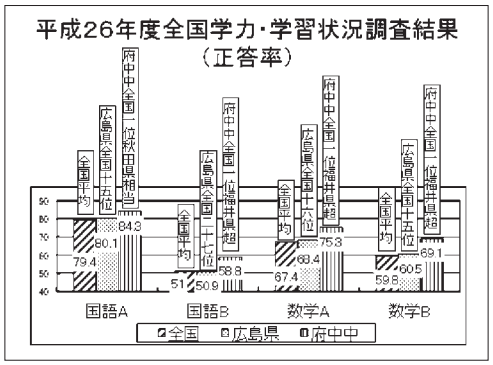
迫田　豐

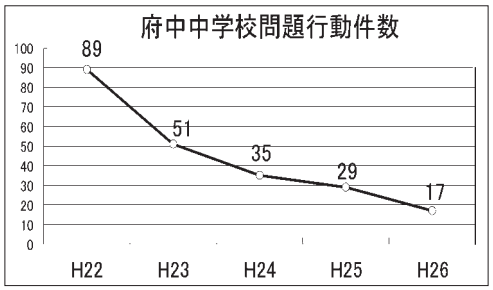
府中中学校創立70周年を迎えられ木村校長先生をはじめ教職員の皆様、生徒･保護者の皆様、卒業生の皆様、今日まで府中中学校の長い歴史と伝統をつくられた関係者の皆様へ心からお祝い申し上げます。

私は平成22年度から26年度まで再任用校長として5年間奉職いたしました。赴任当初の平成22年度は17学級（含特別支援学級2学級）・生徒数579名・教職員数54名でしたが、5年後の平成26年度には19学級（含特別支援学級2学級）・生徒数632名・教職員数59名と、少子化が一層進行する社会状況にあって学校規模が拡大するという希有な学校でした。

平成22年度には、学校経営のミッションを『信頼される学校をつくる。』～信頼されてこそ責任ある教育ができる～、教育目標を『基礎・基本の徹底に努め、生きる力の育成を図る。』とし、ビジョンを、（ア）安全性･公開性・指導力を向上し信頼度を高める。（イ）基礎学力を定着させ確かな学力を育成する。（ウ）不登校・問題行動を克服し豊かな心を育成する。（エ）体力・運動能力を向上させ、健やかな体を育成する。として先輩諸先生が築き上げられた教育力を一層の高みへ押し上げようと努めました。とりわけビジョンの（イ）と（ウ）については課題が多く、教職員一体となってその課題を克服する教育活動に取り組みました。

その後、平成26年度までこのミッション・教育目標・ビジョンは概ね変えることなく学校運営に当たりました。その結果、学校の状態は次のように変化しました。





在任5年間で、従前にも増して学力は向上し、問題行動は鎮静化し、部活動も全日本中学校陸上選手権大会優勝、全日本マーチングコンテスト金賞等々生徒の皆さんは各種大会等で優秀な成果を残しました。

優秀な生徒、優秀な教職員、熱意あふれる保護者・地域の皆様のご支援の中で、私は41年間の教職生活を府中中学校で終えることができたことを有り難く振り返っています。

今年度は府中町によって校舎改築・新築工事も竣工され、創立70周年もあいまって府中中学校の新時代が始まったことは喜びに堪えません。これからの府中中学校の益々の発展を祈念し、改めてお祝い申し上げ創立70周年に当たっての御挨拶とさせて頂きます。

府中中学校創立70周年に寄せて

第17代府中中学校
校長

大田　稔

府中中学校70周年並びに記念誌の発刊を心からお慶び申し上げます。

私は、平成27年4月に第17代目の校長を拝命し着任しましたが、同年暮れに病気が見つかり、その後入院、約1年3ヶ月間学校付として療養生活を送りました。僅か2学期間の校長でしたが、その日々は私にとってかけがえのないものとなりました。

出勤初日、正門脇の大きな桜の木から舞うたくさんの花びらが私を迎えてくれたことが昨日のことのように思い出されます。背筋を伸ばし校長室に入ってまず悩んだことは、目に留まった額に書かれた校訓「本心（ほんじん）」でした。「本心とは、智慧なり、智慧とは真実なり」の副題はありましたが、日々どういう意味か自問自答を繰り返しました。結局、自分なりに到達したのは「本心とは、何事も本気で見て、聴いて、話して、行動することの大切さ」であろうということでしたが、その真偽は未だにはっきりしません。愚考ですが、受け止める人によって「本心」への思いが違うのかもしれません。

5月の「大運動会」は、新校舎建て替えのため以後2年間運動場が使えないことが決まっており、入学してきた1年生は「初めで最後」の運動場での「大運動会」となりました。1年生が地域の指導者と一緒に、二人の担任の先生の歌声で踊った「新府中音頭」はとても可愛らしく微笑ましいものでした。

10月の文化祭では、初めての試みとして全校生徒630名による全校合唱を行いました。大合唱団が体育館を震わせ、また観ている人々の魂を震わせるような「地球の詩（うた）」を歌い上げ、保護者や地域の方々から大きな拍手と称賛の声をいただきました。

11月に行った公開研究会では、研究会の一つの目玉として小中学生がパネリストとなったパネルディスカッションを行いました。元府中町教育委員長の藤原凡人先生にコーディネーター役をお願いして、「学び合うこと」をテーマにパネリストの小中学生が意見交換をしました。藤原先生の深い造詣と巧みな話術によって、パネリストは本音で自分の思いや考えを語り、「子どもたちの心」を知ることができたとても有意義な研究会となりました。ただ、とても残念なことに、その3ヵ月後、藤原先生はご病気のために逝去されました。体調が悪いのを押して、出席してくださった藤原先生に心から感謝を申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

わずかな期間でしたが、私にとってどの行事も日々の活動も忘れ得ぬ思い出深いものになっています。

終わりになりますが、先輩諸氏が営々と築かれ、引き継がれてきた府中中教育が、今後とも「本心」の精神の基にますます発展することを心よりお祈りします。

思い出

学校評議員（元 PTA 会長）

桒原　修

初めての参観日、授業の様子にちょっとショックを受けました。中学生の授業態度は、他の小学校からの生徒を意識したり、高校受験へ向けてもっと真剣に勉強するものだと思っていました。ましてや、初めての参観日で知らない大人に見られている緊張感もありもっと静かな授業風景を想像していましたが、意に反してざわざわとしたまとまりのない状態でした。息子の3年後の高校受験大丈夫なのだろうかと本当に心配になりました。が、それはやがてしなくてよい心配と分りました。

迫田校長先生によるいきいき参観日で、地域の方々にも授業風景を見て頂いて次第に静かな中学校らしい授業風景へと変わっていきました。学力についても同様に目標を掲げて、府中 STADY-ABC などを取り入れられ確実に上げて頂きました。ただ、残念なことに息子は余りパーフェクト賞を頂けなかったので、つまり真剣に府中 SUTADY-ABC に取組まなかったので、親の思いの学校より1ランク下の高校、いや、あれだけ勉強しなくてもあの高校に入学することができました。もっと真剣に取組んでくれていたらとも思いますが、親である自分にも責任はあるので息子を責めたりはしませんでしたが、…。

他にも椿ロード・つばきランド・職場体験・小中高合同クリーンキャンペーン・さわやかあいさつ運動・トイレ掃除などの行事を通して、生徒の自尊感情の高揚や将来の夢を見つけるきっかけづくりをして頂きました。そうした行事により生徒達は、やればできるという自信をつけ、大人に近づいている自覚を持ち、将来の夢に向かって、今自分のするべきことを真剣に考え取組むことで学力の向上も加速したと感じました。PTA の一員としてそのような行事の協力をすることで、私自身も人間として成長できたと感じています。個人的には広島掃除に学ぶ会の方々にトイレ掃除でお世話になり、みんなが嫌がるトイレ掃除に自ら進んで参加したのだから、なんでもできるから自信を持って下さいと言われたのが特に印象に残っています。

PTA 副会長を1年、続く2年 PTA 会長を地域の方々や PTA のご協力で務めることができ感謝です。また、私事の都合（母と同居）で、PTA を退くに当たり、宮脇さんが PTA 会長を引受けて下さったこともありがたかったです。PTA 役員を退いてからは、迫田校長先生の要望で学校評議員を務めております。これからも、地域の一員として府中中学校と関わっていくつもりです。よろしくお願い致します。

思い出

府中中学校茶華道部講師

長門　香苗

創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私は、茶華道部講師として、昭和60年より現在まで33年間府中中学校に勤務させていただいております。また、昭和30年に府中中学校を卒業させていただくとともに、娘2人も当校の卒業生です。

戦後、私が小学生だった頃は府中中学校の校舎は無かったため、当時の中学生は府中小学校の教室や宮の町にある教徳寺の本堂を教室として勉強していました。

府中中学校に入学するときには、木造2階建ての校舎が新築されました。場所は現在のくすのきプラザがあるところです。しかしながら、戦後の突貫工事のためか、2階で水がこぼれると1階へ漏れるような簡素な建物でした。

その当時、府中中学校は、府中町、中山村、温品村、戸坂村の四ヶ町村立の中学校でした。一番遠い戸坂村の生徒は芸備線の戸坂駅から矢賀駅まで汽車に乗り、矢賀駅からは徒歩で通学していました。府中中学校区内の各小学校の運動会には、中学生の代表が参加していましたが、中でも戸坂小学校へは徒歩で1時間以上かかって参加した記憶があります。懐かしい思い出の一つです。

私が茶華道に縁がありましたのは、中学1年生のときの学級担任　故　木村　孝之先生のお蔭です。あるとき、黒板下の台を足で動かしているところを見つけられ、「中学校には茶華道部があるから入部して、お行儀よくなりなさい。」と言われたことがきっかけで、茶華道部に入部しました。特に、華道に興味が湧き、卒業後も当時の茶華道部講師　故　川崎ミサ子先生にご指導いただきました。その先生が亡くなられ、講師を受け継ぐことになり現在に至っております。

茶華道講師としての33年間は、あっという間に過ぎました。その間、くすのきプラザの場所にあった木造校舎は、現在の場所に昭和39年立派な鉄筋コンクリート4階建ての校舎へ建て替えられました。当時の作法室は4階にあり、立派な和室でした。

茶華道部の活動は、日頃の活動に加え、文化祭ではお茶会を開き、保護者の方々、先生方、生徒のみなさんに喜んでいただきました。また、入学式、卒業証書授与式の花の生け込みや、文化祭では毎年工夫を凝らした花の展示をしています。生徒のみなさんのアイデアの豊かさに学ぶことが多く、私にとって大変楽しい行事となっています。

そして、日本の伝統文化である茶華道の精神「和の心」を大切にすることを微力ながら伝えていきたいと思っております。

今年創立70周年を迎え、校舎も新しく3代目の新校舎になりましたが、今後も末永く府中中学校がより素晴らしい学校になることをお祈りいたします。また、これまで33年間お世話になった歴代の校長先生をはじめ、多くの先生方に支えていただきましたことに感謝いたします。

これからも多くの生徒のみなさんの成長のために、茶華道の指導に邁進して参ります。

70th anniversary

回想録

回想録(創立～20年)　昭和22年～41年(1947年～1966年)

昭和23年
第1回教職員卒業写真

昭和27年　第5回卒業写真

昭和31年　10周年記念運動会

水分狭神社
ボランティア清掃活動

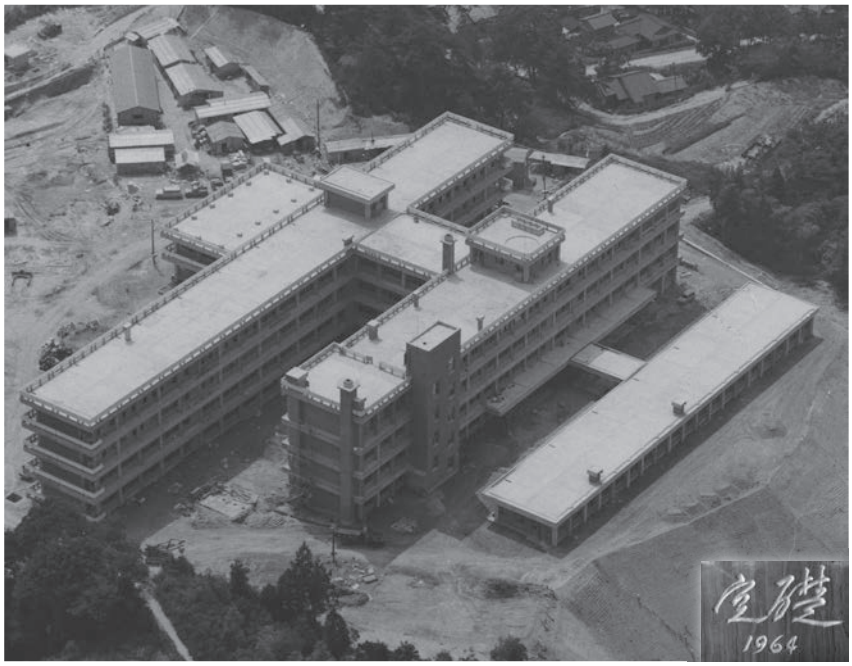
駅伝大会

林間学校
比婆郡熊野小学校にて

昭和38年　起工式

昭和39年　校舎建設

昭和39年　旧校舎の思い出



昭和39年　校舎完成

昭和39年　新校舎への引越し

昭和40年　運動会
仮装行列

回想録(創立21年～40年)　昭和42年～61年(1967年～1986年)

昭和42年　体育館完成

昭和43年　修学旅行～南九州

昭和43年　臨海学校

避難訓練

昭和46年　中国中学校
駅伝競走～西条役場

昭和46年　運動会
～旗奪い

昭和46年　運動会
～騎馬戦

昭和47年　卒業式

昭和46年　PTA 総会

昭和52年　運動会

昭和46年　第1回府中町4校
PTA 親善球技大会

昭和52年　修学旅行
～関西・名古屋方面

昭和61年　運動会

回想録(創立41年～60年)　昭和62年～平成18年(1987年～2006年)

平成1年　大運動会～エッサッサ

平成5年　林間学習

平成9年　修学旅行～大山

平成8年創立50周年記念

運動会

記念植樹

記念行事

文化祭

平成11年　第1回合唱祭

平成11年　修学旅行～沖縄

平成12年　合唱祭～絆

平成18年　遠足～土師ダム

回想録(創立61年～70年)　平成19年～28年(2007年～2016年)

平成19年　クラスマッチ

平成19年　修学旅行

平成20年　修学旅行

平成22年　文化祭

平成23年　文化祭

平成23年　つばきランドの始まり

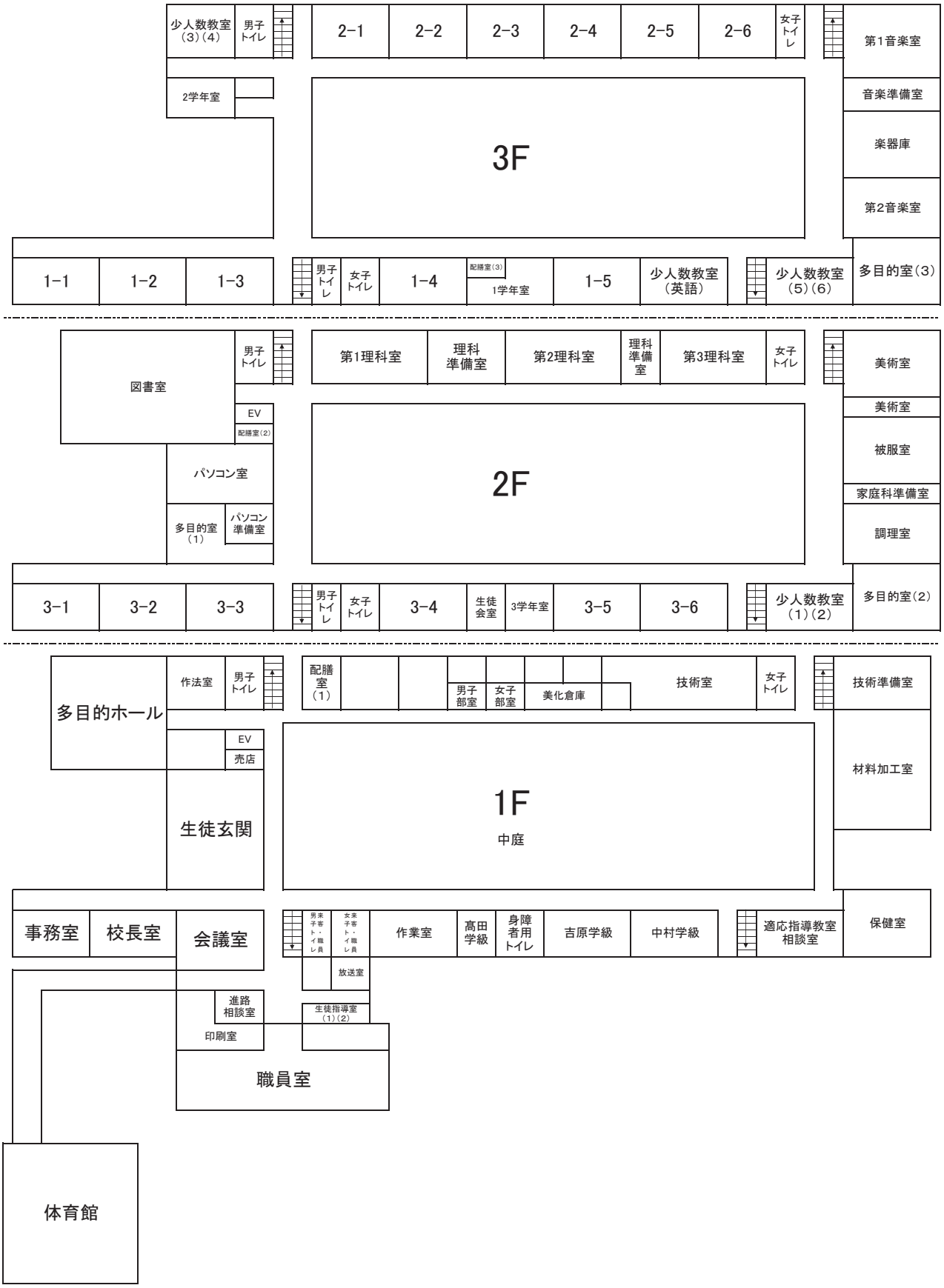
平成24年
キャリアスタートウィーク

平成24年　修学旅行～九州民泊

70th anniversary

学校教育活動

新校舎配置図


少人数教室（3）（4）
男子トイレ
2-1
2-2
2-3
2-4
2-5
2-6
女子トイレ
第1音楽室
2学年室
3F
音楽準備室
楽器庫
第2音楽室
1-1
1-2
1-3
男子トイレ
女子トイレ
1-4
配膳室（3）
1学年室
1-5
少人数教室（英語）
少人数教室（5）（6）
多目的室（3）
図書室
男子トイレ
第1理科室
理科準備室
第2理科室
理科準備室
第3理科室
女子トイレ
美術室
EV
配膳室（2）
美術室
被服室
パソコン室
2F
家庭科準備室
多目的室（1）
パソコン準備室
調理室
3-1
3-2
3-3
男子トイレ
女子トイレ
3-4
生徒会室
3学年室
3-5
3-6
少人数教室（1）（2）
多目的室（2）
多目的ホール
作法室
男子トイレ
配膳室（1）
男子部室
女子部室
美化倉庫
技術室
女子トイレ
技術準備室
EV
売店
材料加工室
生徒玄関
1F
中庭
事務室
校長室
会議室
男来客トイレ・職員
女来客トイレ・職員
作業室
高田学級
身障者用トイレ
吉原学級
中村学級
適応指導教室相談室
保健室
放送室
進路相談室
生徒指導室（1）（2）
印刷室
職員室
体育館

平成29年度　教職員・生徒集合写真

平成29年度　学校教育推進計画全体構想図

府中町教育振興基本計画（学校教育）

あいさつ　感謝　志　をキーワードとした　社会総ぐるみの人材育成

平成２９年度府中中学校指定事業

「学びの変革」パイロット校事業実践指定校

（Mission）

校　訓『本心（ほんじん）』～「本心」とは智慧なり，智慧とは真実なり～

経営方針

『信頼される学校をつくる』～信頼されてこそ責任ある教育ができる～

学校教育目標**『基礎・基本の徹底に努め，生きる力の育成を図る』**

（Vision）

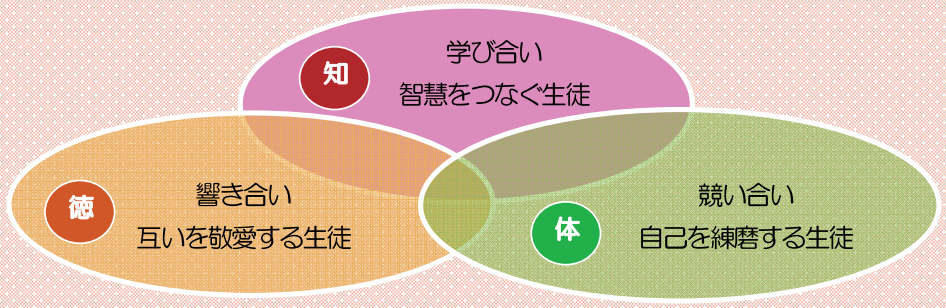
エ　学校への信頼度を高める

公開性の向上　指導力の向上

ア　確かな学力の育成	**イ　豊かな心の育成**	**ウ　健やかな体の育成**
思考力・判断力・表現力の向上 基礎・基本の知識・技能の定着	道徳教育の充実 不登校・問題行動・いじめの克服	体力・運動能力の向上 部活動の活性化

めざす生徒像

「学び合い」を通して確かな学力を身に付けた生徒



（Action）

平成２９年度研究主題【小・中連携研究テーマ】

主体的・協働的に学ぶ児童・生徒の育成～「課題発見・解決学習」を取り入れた授業を通して～

各教科	道徳教育	総合的な学習の時間
①「府中中三訓」を徹底 ②「探究的な学び合い」を徹底 ③「Study A･B･C」を徹底	①「挨拶，感謝の心，高い志」を育成 ②意識調査で生徒の変容を評価 ③道徳参観日を実施	「府中町活性化プロジェクト」 ①地域学習 ②自己探究学習

府中中学校の一年

JRC 登録式

野外体験活動

つばきランド

修学旅行

一学期	4月	始業式　入学式　JRC 登録式　全国学力・学習状況調査 授業参観・学校説明会・PTA 総会　NRT テスト
	5月	各種検診　中間テスト　大運動会　春季郡体　教育相談
	6月	部活動懇談・参観　家庭訪問　生徒総会　高校説明会 「基礎・基本」定着状況調査（2年） キャリア・スタート・ウィーク（2年） 野外体験活動（1年）
	7月	期末試験　終業式　県選手権　夏季郡体　＜夏季休業＞
	8月	＜夏季休業＞　三者懇談会　PTA 親善競技大会 小中高クリーンキャンペーン　吹奏楽コンクール県大会
二学期	9月	始業式　つばきランド（3年）　中間試験　　県総体 マーチング県大会　教育相談
	10月	郡英語暗唱大会　　郡新人大会 文化祭（合唱コンクール）
	11月	期末試験　郡音楽会　《学校へ行こう週間》
	12月	終業式　三者懇談会　＜冬季休業＞
三学期	1月	＜冬季休業＞　始業式　CRT テスト 学年末試験（3年）　府中中学校区公開研究会　教育相談
	2月	修学旅行（2年）　新入生学校説明会 公立高校選抜Ⅰ　私立高校入試 学年末試験（1・2年）
	3月	公立高校選抜Ⅱ・Ⅲ　卒業証書授与式 修了式・離退任式　＜春季休業＞

〔毎月1回〕　学校朝会　生徒朝会　学年朝会
　　いきいき参観日　風紀点検
〔毎月17日〕　さわやかあいさつ運動
〔第3火曜日〕　体罰・セクハラ相談日
〔毎月末〕　校内安全点検日

キャリア・スタート・ウィーク

大運動会

文化祭（合唱コンクール）

あいさつ運動

進路概要

平成29年3月卒業生

1 公立高等学校（県立）

安芸府中高等学校	30
安芸高等学校	11
海田高等学校	19
安芸南高等学校	9
熊野高等学校	5
広島皆実高等学校	4
広島国泰寺高等学校	13
広島観音高等学校	3
広島井口高等学校	1
高陽高等学校	2
高陽東高等学校	1
広島商業高等学校	3
広島工業高等学校	11
宮島工業高等学校	1
加計高等学校(芸北分校)	1

2 公立高等学校（市立）

基町高等学校	3
舟入高等学校	2
広島商業高等学校	3
広島工業高等学校	1

3 国立高等学校・国立高等専門学校

広島大学附属高等学校	1
呉工業高等専門学校	1
広島商船高等専門学校	1

4 特別支援学校

県立呉特別支援高等学校	2

5 私立高等学校

広島翔洋高等学校	8
広島国際学院高等学校	27
広島工業大学附属高等学校	8
広島県瀬戸内高等学校	9
広島桜が丘高等学校	8
山陽高等学校	7
城北高等学校	3
崇徳高等学校	1
比治山女子高等学校	6
進徳女子高等学校	7
広島新庄高等学校	1
呉港高等学校	1
如水館高等学校	1

6 通信制

県立西高等学校	1
KTC 中央高等学院	2
日本ウエルネス	1
飛鳥未来	1
第一学院	1
星槎国際	1
クラーク記念国際	2

7 県外

島根県立横田	1
石見智翠館	1

8 専門学校

広島総合教育専門学校	2

9 国外

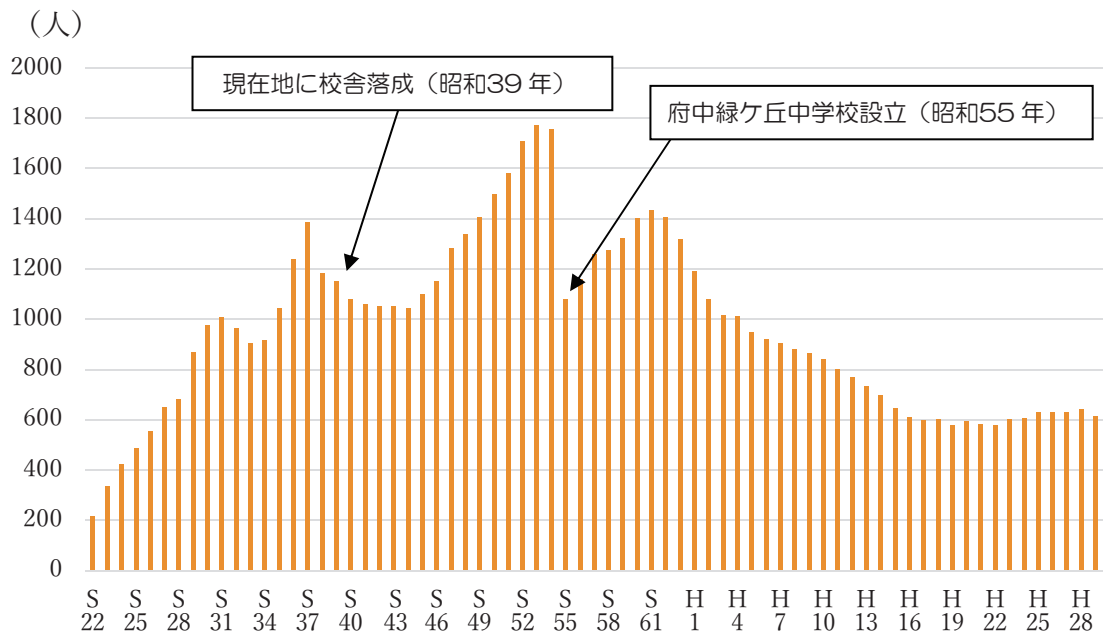
ブキャナンハイスクール（米国）	1

学校沿革史

年	月	沿　　革
昭和22	4	学校6・3・3制発足　　安芸郡府中町・中山村・温品村・戸坂村学校組合立府中中学校として設立
		（生徒数222名，教職員7名　　府中小学校4教室を使用して授業実施）
		住岡秋作　初代校長として就任　　中学校校舎建設資金募集のため4ヶ町村で映画会など実施
昭和23	1	中学校校舎建設のため保護者大会開催
	7	府中中学校 PTA 結成
	11	教育委員会発足，町，小学校の講堂・運動場の一般開放条例公布
昭和24	1	府中中学校 PTA を総動員で整地作業し起工式挙行（中学校建設資金として町民，会社1,994名から寄付を受ける）
	7	中学校第1期工事完成（府中小学校・辻青年会館の借用校舎より移転）
昭和25	10	中学校校舎寄附金募集状況発表
昭和26	12	中学校第2期工事完成
昭和27	11	中学校組合立教育委員会発足
昭和29	7	中学校第3期工事完成
昭和32	12	中学校の講堂完成
昭和36	3	安芸郡府中町・安芸町立「府中中学校組合」を解散　　4月　安芸郡府中町立府中中学校と改称
	11	**藤本　巌　第2代校長**に就任
昭和37	5	府中町制実施25周年記念
昭和38	2	府中中学校，八幡山で起工式　　10月　町内の小中学校の教科用図書費の全額を町費負担
昭和39	9	府中中学校，現在地に新校舎落成
昭和40	6	町教育委員会事務局が旧府中中学校へ移転
昭和42	3	体育館完成
昭和44	7	プール完成
昭和47	4	**白根淳良　第3代校長**に就任
昭和51	4	**津国恒雄　第4代校長**に就任
昭和52	3	普通棟屋上フェンス完成　　7月　プレハブ校舎完成（～昭和55年）
昭和53	10	グランド拡張工事（崖切削）完成
昭和54	2	仮称第2中学校起工式　　3月　府中中学校柏分級閉級
昭和55	4	**吉岡道生　第5代校長**に就任　　（府中緑ヶ丘中学校設立により生徒一部分離）
昭和56	4	**松本　進　第6代校長**に就任
昭和59	4	**高橋信夫　第7代校長**に就任
昭和61	4	**足立龍夫　第8代校長**に就任
昭和62	2	体育館大規模改修工事完成
平成元	4	**東　義昭　第9代校長**に就任　　8月　第1期大規模改修工事完了
平成 2	8	第2期大規模改修工事完了
平成 3	8	第3期大規模改修工事完了
平成 4	8	第4期大規模改修工事完了
平成 5	4	**大知啓軌　第10代校長**に就任　　8月　第5期大規模改修工事完了　　12月　テニスコート及び照明灯完成
平成 6	2	屋内体育館大規模改修工事完成
平成 8	4	**正井嘉明　第11代校長**に就任　　広島県生徒指導推進校指定　　教育相談室開設・難聴児学級開設
	8	サッカー部・バスケットボール部（男子）・水泳部　…中国大会出場
	10	ひろしま国体府中町大会に集団演技等で協力参加
	11	創立50周年記念行事　　吹奏楽部　…全国マーチング大会金賞（メイプル賞を受賞）
平成 9	8	難聴児学級改修工事完了
平成10	4	**村上　廣　第12代校長**に就任
平成11	4	校舎大規模改造工事
平成11	8	サッカー部・バスケットボール部（男子）…中国大会出場
平成12	8	サッカー部・バスケットボール部（男子）・水泳部…中国大会出場　　特別棟校舎大規模改修工事　相談室新設
平成13	4	**樽谷和子　第13代校長**に就任　　8月　特別棟校舎（北東部分）大規模改修工事
平成14	4	排水設備設置工事　　6月　職員室空調設備工事　　8月　卓球部（男子個人戦）…全国中学校卓球大会出場
平成17	4	**宮本哲史　第14代校長**に就任
平成18	10	体育館屋根工事
平成19	8	剣道部（女子）　…全国大会出場　　吹奏楽部　…中国大会出場

年	月	沿　　革
平成20	4	**國沖　傑　第15代校長**に就任　　11月　吹奏楽部　…全日本マーチングコンテスト金賞
平成21	3	吹奏楽部，福部真子（ジュニアオリンピック女子100m H 優勝者）…メイプル賞受賞　体育館大規模改造工事終了
	4	広島県中学校学力向上対策事業の指定を受ける。　11月　吹奏楽部　…全日本マーチングコンテスト金賞
平成22	4	**迫田　豊　第16代校長**に就任
	8	福部真子…全日本中学校陸上選手権（女子四種競技優勝）
		11月　吹奏楽部　…全日本マーチングコンテスト金賞（3年連続金賞）
平成23	3	吹奏楽部，福部真子…メイプル賞受賞
	4	「広島県心の元気を育てる地域支援事業推進校」「広島県中学校不登校対策事業実践指定校」の指定を受ける。
		教室天井扇風機設置工事
	12	全日本マーチング・バトントワーリング全国大会　銀賞
平成24	4	「広島県小・中学校生徒指導実践指定校」の指定を受ける。　8月　給水槽設置工事
平成25	4	「広島県小・中学校生徒指導実践指定校」「広島県小・中・高等学校道徳教育実践研究事業」の指定を受ける。
	11	全日本マーチングコンテスト全国大会金賞
平成26	3	吹奏楽部メイプル賞受賞
	4	「道徳教育改善・充実」総合対策事業の指定を受ける。
平成27	3	沖山侑子メイプル賞受賞
	4	**大田　稔　第17代校長**に就任　「広島県小・中学校生徒指導実践指定校」の指定を受ける。
平成28	1	**木村通幸　第18代校長**に就任
	4	管理教室棟耐震化，教室棟・特別教室棟改築工事開始，仮設校舎での授業開始
		「『学びの変革』パイロット校事業　実践指定校」の指定を受ける。
平成29	4	「『学びの変革』パイロット校事業　実践指定校」の指定を受ける。
	11	耐震化改築工事・校舎竣工

生徒数推移



70th anniversary

PTA 活動

PTA 活動一覧

	事　業　内　容	期　日　・　内　容
本部委員会	・合同委員会 ・新旧常任委員会 ・本部役員会 ・PTA 総会 ・常任委員会 ・大運動会 ・文化祭 ・町 P 家庭教育フォーラム ・フォーラム打ち合わせ ・70周年人文字撮影 ・卒業式 ・会計監査 ・推薦委員会 ・学校保健委員会 ・離退任式 《単 P 外活動》 ・町 P 連絡協議会 ・町 P 連会長・副会長会 ・町 P 連母親部会 ・町 P 連親善競技大会 ・町 P 連親善競技大会練習 ・郡 P 連合会総会 ・郡 P 合同研修会 ・第44回県 PTA 研究大会 ・多家神社　祭り巡視	4/12　正副委員長の選出 4/15　引継ぎ等 5回開催 4/23 5/9，6/8，9/7，10/6，1/27 5/21　駐車場当番（揚倉山運動公園）　業者、仮設トイレ 10/29　受け付け、出入口管理等 10/30　舞台、照明、音響担当（くすのきプラザ） 4/20、5/18、6/15、7/13、9/1、10/5、12/28、 2/23　（クリアファイル用） 3/11　来賓接待、受け付け等 4/3 2/23　次年度本部役員候補の推薦 2/20 3/24　PTA 謝辞 6/4，2/4 5/24, 1/25 7/9（こふじもち）、9/3（熊野） 8/27（くすのきプラザ／ビーチボールバレー） 7/28，8/3, 8/9, 8/22 5/15　くすのきプラザ 11/26　海田町 10/2　世羅町 7/30、10/15
学年委員会	・大運動会 ・制服リサイクル（1学年） ・あいさつ運動（2学年） ・クリーンキャンペーン（3学年）	駐車場係 5/14、7/25-28（回収）、10/29（配布） 5/19、6/15、7/11、9/14、10/17、11/15、12/15、 1/17、2/17、3/17 8/18
堀・田邉学級活動	・体育交流会　参加 ・「ともに展」　出展	10月　（海田中学校） 2/15～2/25くすのきプラザ
生活指導委員会	・委員会 ・夏・秋祭りのパトロール ・大運動会 ・町 P 親善競技大会練習 ・町 P 親善競技大会 ・あいさつ運動の参加 ・いきいき参観の参加 ・新年度役員選出	7/1、2/6 7/30、10/15 5/14(駐車場当番) 7/28、8/3、8/9、8/22　(府中中体育館) 8/27（くすのきプラザ） 各地区担当日 各クラス担当日 各地区担当
教養委員会	・教養講座　（3学年） （1学年） （2学年） ・大運動会	6/24　給食試食および食育講座 10/22　ヨガ教室 12/3　プリザーブドフラワー講習会 5/14　（駐車場当番）
広報委員会	・3学年 ・2学年 ・1学年	4/23～　打合せ、企画・取材・原稿・校正他 7/20　『呉沙々宇』180号発行 9/13～　打合せ、企画・取材・原稿・校正他 12/22　『呉沙々宇』181号発行 1/27～　打合せ、企画・取材・原稿・校正他 3/7　『呉沙々宇』182号発行

PTA 活動風景

卒業式受付

PTA 総会

運動会ジュース販売

制服リユース

ヨガ教室

府中町学校 PTA 親善競技大会

文化祭受付

祭り巡視

おやじの会～学校環境整備

ブリザーブドフラワー講習会

イラスト

編集後記

平成30年2月17日に記念式典の開催日とし、平成29年10月13日に創立70周年記念事業実行委員会を発足しました。

わずか4か月という短い期間での記念誌の制作だったため、「むりはせず出来ることを出来るだけのことをやりましょう。」ということで取りかかりました。どのような記念誌が出来上がるのか、期待と不安がありました。

70年という長い年月を一冊の記念誌に凝縮するのはなかなか大変な作業で、幾度となく参集し、写真の収集、選択及びレイアウトなどを話し合い、なんとか原稿の提出に間に合わすことができました。

今回の記念誌の制作にあたり、短納期での原稿の依頼を快く引き受けて下さった関係者の皆さま、文化社様、ご尽力いただきまして、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

府中中学校70周年記念事業実行委員会名簿

実行委員長	飯田　誠				
実行委員	桒原　修	萬城　友美	宮脇　博之	宮尾　雅彦	宮本　彰
	久保真佐美	藤田　裕之	浜田　千枝	吉田　久子	星山　知子
	小林　智加	中村　浩子	富原　美緒	鳥田あかね	
参与	木村　通幸				
事務局	柿林　浩彦				
顧問	迫田　豊				

府中町立府中中学校
創立70周年記念誌

発行日　平成30年2月17日
発行者　府中町立府中中学校
〒735-0005
安芸郡府中町宮の町五丁目4番28号
TEL（082）282-3181
FAX（082）282-3182
出版社　株式会社文化社
〒733-0833
広島市西区商工センター7-5-56
TEL（082）277-2661
FAX（082）501-0268

表紙題字：今井　行雄

70th anniversary